



基調講演の様様



奈良裕信氏

地域間格差ない環境整備に向けて あきた大会 政策協議で基調講演とシンポジウム



発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
デアダックビル4階
TEL03-3565-3399(代)
FAX03-3565-3349
http://www.nissinren.or.jp
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

大会1日目の5月22日(水)午後、秋田キャッスルホテル(秋田県秋田市)で、「改正バリアフリー法への期待〜地域間格差ない環境整備に向けて〜」をテーマに、政策協議と基調講演とシンポジウムが盛大に開催されました。

はじめに、基調講演として国土交通省総合政策局安心生活政策課長の奈良裕信氏から「我が国のバリアフリー政策」と題したご講演があり、ユニバーサルデザイン2020行動計画に基づく政策の実行の有効性についてお話しいただきました。

バリアフリー法の改正により公共交通機関やホテル旅館などのバリアフリー水準の底上げがされたことや、接遇や研修などを通じた心のバリアフリーの推進が政策に反映されたことなど、バリアフリー化の促進について共

有しました。また、地域間格差解消の方策の一つとして、市町村におけるマスタープランの作成に障害者団体や障害のある当事者が関わることの重要性と、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会後を見据えて、国の移動等円滑化評価会議と同様に、地域10ブロックに設置される地域分科会にも関心をもつてかわっていく必要性を確認しました。

基調講演を受けて行ったシンポジウムでは、開催地を代表して秋田県身体障害者福祉協会会長伊藤英紀氏、国交省内の委員会に参画した経験のある日身連会長阿部一彦氏、札幌市身体障害者福祉協会会長浅香博文氏、長崎県身体障害者福祉協会連合会会長土岐達志氏が登壇、ご講演いただいた奈良課長にコメントとして加わっていただき、日身連組織体制強化及び障害者施策等に関する検討委員会副委員長で茨城県身体障害者福祉団体連合会会長荻津和良氏の進行でディスカッションが繰り広げられました。

シンポジストからは、日身連が参画している国交省の委員会での検討内容やバリアフリー化推進の課題、障害者団体の役割などについて意見が交わされ、私たちが抜きに私たちのことを決



シンポジウムの様様

めないで”の意識をもち、社会的障壁の除去を進めること、暮らしやすい環境の構築には地域を巻き込んでいくことなどが提案されました。また、会場の参加者からも心のバリアフリーがしっかりと理解され、社会の常識として定着させる必要性が指摘されました。

奈良課長から、「共生社会の実現には心のバリアフリーは必要不可欠、地域に組織力をもっている強みを生かしてもらいたい」と日身連への期待が寄せられました。